

教育学部の概要

Faculty of Education

■教育学部の目標

ますます多様化、深刻化する教育の諸問題に理論と実践の統合という視点から学際的、総合的にアプローチし、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い視野と専門性を兼ね備えた、指導的な人材を育成します。

■求める学生像

求めているのは、まず何よりも人間や教育問題に関心を持っている方です。また、自分から積極的に学習する意欲や実践する行動力も必要です。もちろん、大学での学習を進めていく上で、高校までの学習内容をしっかり身につけていることが必要ないということはありません。

■教育学部の特色

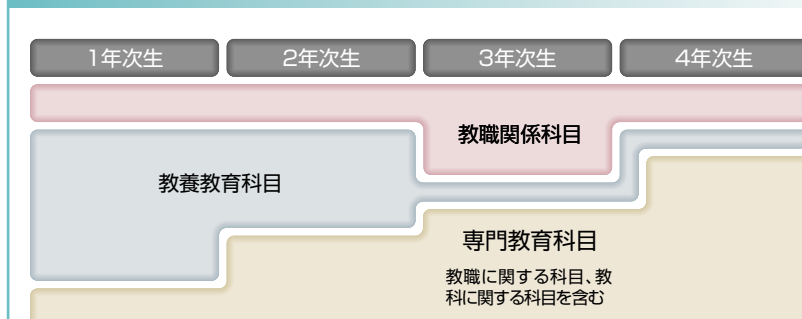
幼児教育から高等教育、さらに生涯学習までをカバーしており、一人一人の問題意識に沿った学習をすることができます。また、少人数教育を基本としており、きめ細かな指導を行っています。さらに、外国からの客員教授や留学生を積極的に受け入れており、国際色豊かな環境も整っています。卒業後は教員や教育関連分野で活躍することはもちろん、大学院に進学して更に専門性、実践性を培う道も開かれています。



■教育学部の構成・入学定員

教育学部	定員	コース
第一類(学校教育系)	180名	初等教育教員養成コース 特別支援教育教員養成コース
第二類(科学文化教育系)	88名	自然系コース 数理系コース 技術・情報系コース 社会系コース
第三類(言語文化教育系)	84名	国語文化系コース 英語文化系コース 日本語教育系コース
第四類(生涯活動教育系)	88名	健康スポーツ系コース 人間生活系コース 音楽文化系コース 造形芸術系コース
第五類(人間形成基礎系)	55名	教育学系コース 心理学系コース

学部およびカリキュラムの特徴



教育学部では、学生の多様なニーズに応え、卒業後の幅広い進路に対応するために、豊富な教育プログラムを提供しています。どの教育プログラムになるかは、所属する類・コースにより、入学時点で決まっています。15の主専攻プログラムを組織し、各プログラムで到達目標を明確に定め、そこに到達できるように入学から卒業まで各段階で目標の到達度をチェックします。教員を希望する学生については、第一類の教育プログラムでは小学校、特別支援学校の教員を専門的に養成します。また第二～第五類の教育プログラムでは、卒業要件単位内で中学校・高等学校の教科の一種免許状が取得できます。さらに、教育に関する研究者及び高度専門職業人の育成において、全国屈指の実績を誇る大学院教育学研究科への進路も開かれています。

■教育学部の整備

設置当初の教育学部には、安浦分校(後に福山分校)・東雲分校・三原分校が置かれていました。分散キャンパスの統合過程で、1978年には学校教育学部が設置されました。そして、東広島キャンパス移転後の2000年に、教育学部と学校教育学部は再統合し一つの学部となったのです。

■大学院教育学研究科の整備

広島文理科大学は、優れた研究者を輩出し博士の学位を授与してきました。博士課程を有する教育学研究科が設置されたのは、新制大学院制度発足の1953年です。教育学研究科では専攻の増設が図られ、また学校

教育研究科も設置されました。そして、2001年には教員組織が大学院講座となり、いわゆる大学院教育学研究科の部局化が成されました。

■国立大学法人広島大学

2004年4月、広島大学は国立大学法人広島大学となりましたが、これまで培われてきた広島大学の教育の伝統を受け継いで、教育学部・教育学研究科が今後一層発展することが期待されています。



広島大学 教育学部

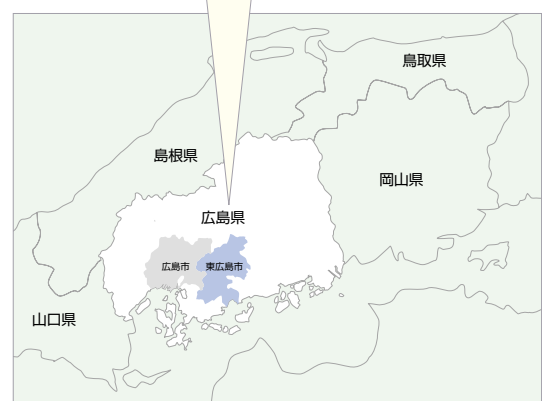
お問い合わせ先

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号
 広島大学 教育学研究科学生支援グループ
 Tel.082-424-6725 Fax.082-424-7108
 E-mail kyoiku-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/>

●東広島キャンパスへのアクセス

利用手段	出発地	所要時間	到着地
JR山陽本線を利用する場合	JR西条駅	所要時間 15分	広大中央口 又は広大北口
	JR八本松駅	所要時間 15分	広大二神口
山陽新幹線を利用する場合	JR東広島駅	所要時間 15分	広大中央口 又は広大北口
	広島空港	所要時間 15分	JR白市駅
山陽自動車道を利用する場合	○大阪方面	所要時間 20分	西条 I.C. → 広島大学
	○九州方面	所要時間 25分	志和 I.C. → 広島大学
高速バスを利用する場合	広島	所要時間 60分	広大中央口 又は広大北口
	バスセンター	所要時間 60分	広大中央口 又は広大北口

※広大中央口、広大北口及び広大二神口の各バス停から教育学部まで、徒歩約3分。

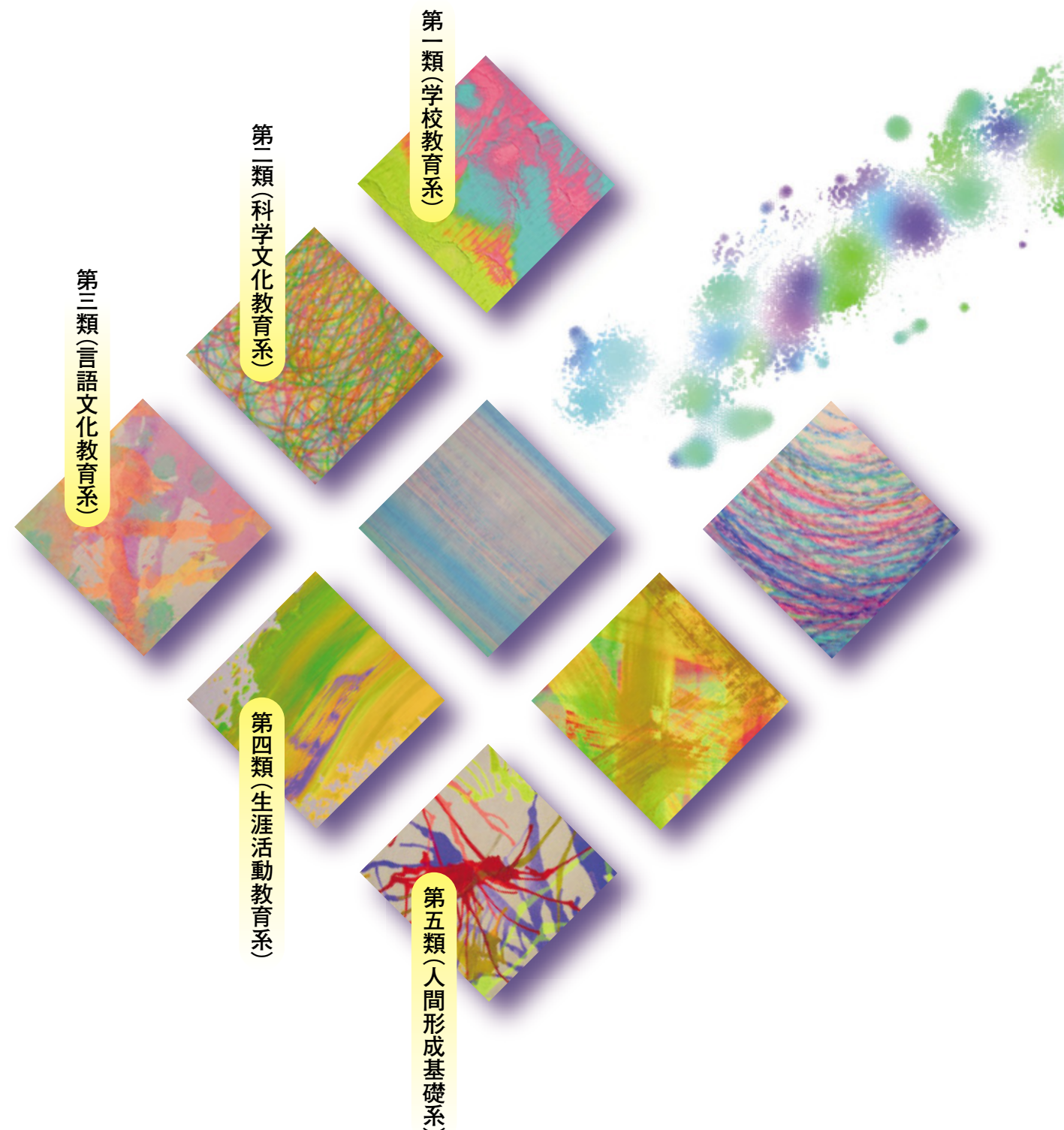


<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/m/> (携帯)

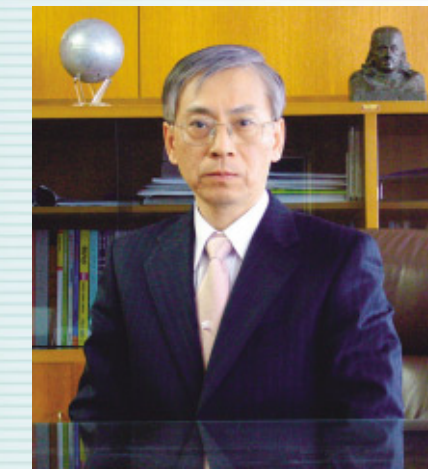


Faculty of Education, Hiroshima University

広島大学 教育学部 2010



学部長からのメッセージ



教育学部長 (大学院教育学研究科長)
棚橋 健治

教育とは、未来を担う人間を育てる営為です。人間を取り巻く社会的環境は変化しており、その中で教育の諸問題は多様化、深刻化しています。広島大学教育学部は、そのような教育諸問題を理論と実践の統合という視点から学際的、総合的に探求するとともに、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探求力を有する指導的な人材の育成を行っています。

本学部は、学生の多様な学習ニーズや卒業後の幅広い進路に柔軟に対応できる組織を構成し、目的意識に沿った専門教育を受けられる豊富なカリキュラムを提供しています。幼児教育から高等教育、さらに生涯学習までをカバーしており、一人ひとりの問題意識に沿った学習をすることができる組織とカリキュラムになっています。卒業後は、教員や教育関係分野で活躍することはもちろん、大学院に進学してさらに専門性、実践性を培う道も開かれています。

本学部は、100年を超える伝統を持ち、多くの卒業生が小・中・高・大学などの教員として活躍していることに示されるように、教育者人材育成に伝統と高い実績を有しています。「教育の広島大学」で未来を担う人間を育てることに、私たちとともに、取り組みましょう。そして、諸先輩が築き上げた歴史に、新たな頁を加えることにより、新たな歴史を拓いて下さい。



教育学部・教育学研究科の歴史

■教育に関する総合学部

広島大学教育学部は、1949年の広島大学設置とともに誕生しました。教育学部の前身校となったのは、広島高等師範学校・広島文理科大学・広島師範学校・広島青年師範学校・広島女子高等師範学校の5校です。全国的にも、教育研究と教員養成を行う5種の学校を包括校とした例はありません。ここから教育学部は、教育に関する総合学部として特色ある学部となりました。

■古い歴史と実績

教育学部の前身校は、それぞれに古い歴史と実績を持っています。

1902年設置の広島高等師範学校は、中等学校教員養成の中核校で、全国の中等学校に優秀な教員を供給し、「普通教育の本山」と呼ばれていました。1929年設置の広島文理科大学は、教育学・心理学研究の拠点校でした。1943年設置の広島師範学校は、1874年開設の白鳥学校(後に広島県立師範学校)に淵源し、70余年にわたって初等教員の養成を行ってきました。1944年設置の広島青年師範学校は、1922年開設の広島県立実業補習学校教員養成所以来、実業補習学校及び青年学校の教員養成に当たってきました。1945年設置の広島女子高等師範学校は、1887年開設の広島高等女学校(後に山中高等女学校)以来の伝統を持ち、女性教員の養成を行っていました。



